

山梨県文学館協議会資料

平成31年2月28日(木)

山梨県立文学館

目次	ページ
<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県文学館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	6
<u>施設利用状況</u>	7
<u>観覧者数の推移</u>	8
<u>平成30、31年度展覧会の状況</u>	10
<u>教育普及事業について</u>	12
<u>資料情報課事業一覧</u>	17
<u>文学館30周年事業について</u>	20
<u>指定管理者活動報告</u>	21

山梨県文学館協議会委員名簿

任期：平成29年9月29日～平成31年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野（勤務先等）
委嘱	津久井 豊徳	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 （南アルプス市教育委員会教育委員、連合会会長）
"	青木 れい子	県社会教育団体代表	社会教育関係 （山梨県社会教育委員、ガールスカウト山梨県連盟 連盟長）
"	石川 芳子	山梨文芸協会事務局長	学識経験者（山梨文芸協会事務局次長）
"	杉原 克彦	報道関係	学識経験者（山梨日日新聞社 論説委員）
"	水石 和仁	報道関係	学識経験者（テレビ山梨 放送本部・報道制作局長）
"	田中 昌央	報道関係	学識経験者（NHK甲府放送局副局長）
"	長谷川 千秋	山梨大学教授	学識経験者
"	古川 裕佳	都留文科大学教授	学識経験者
"	廣瀬 孝嘉	元山梨県教育長	学識経験者
"	出澤 忠利	印傳博物館 運営委員	学識経験者
"	澤谷 滋子	浅川伯教・巧兄弟資料館館長	学識経験者
"	赤井 美知江	公募委員	家庭教育関係者
"	高橋 恵美子	公募委員	家庭教育関係者
任命	清水 千春	県公立小中学校長会代表	学校教育関係 （中央市立田富中学校長）
"	羽田 孝行	県高等学校長協会代表	学校教育関係 （富士北陵高等学校長）

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年
山梨県文学館協議会	博物館法第二十条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務			

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条線下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規定で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条線下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条線下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則五・平四教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・一部改正）

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

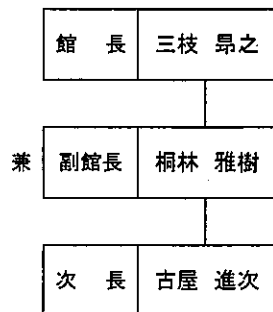
2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

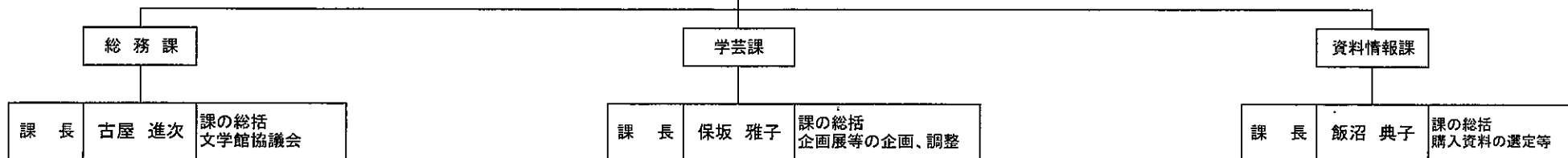
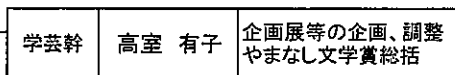
文学館組織図

平成31年1月1日現在



所属名	県立文学館		
正規職員	非常勤嘱託	臨時職員	合計
11	9		20
(兼3)	(兼1)		(兼4)

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務



学芸担当

教育普及担当

職名	氏名	主たる業務
兼 リーダー 主幹	望月 博史	担当の総括 予算管理
兼 主任	高山 慎之介	会計・経理 旅費・福利
兼 非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会
非常勤 嘱託	田島 保好	業務補助

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	中野 和子	担当の総括 企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
学芸員	伊藤 夏穂	企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
非常勤 嘱託	酒井 研一	ボランティアの育成・ 指導等
非常勤 嘱託	佐藤 明子	特殊資料の整理公開
非常勤 嘱託	松井 あすか	業務補助

職名	氏名	主たる業務
リーダー 主幹・ 教育主事	石田 史明	担当の総括 学校教育・生涯学習機 関との連携
副主幹・ 教育主事	小林 伸一郎	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学講座
副主査・ 教育主事	柳川 由美子	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学講座

文学館協力会

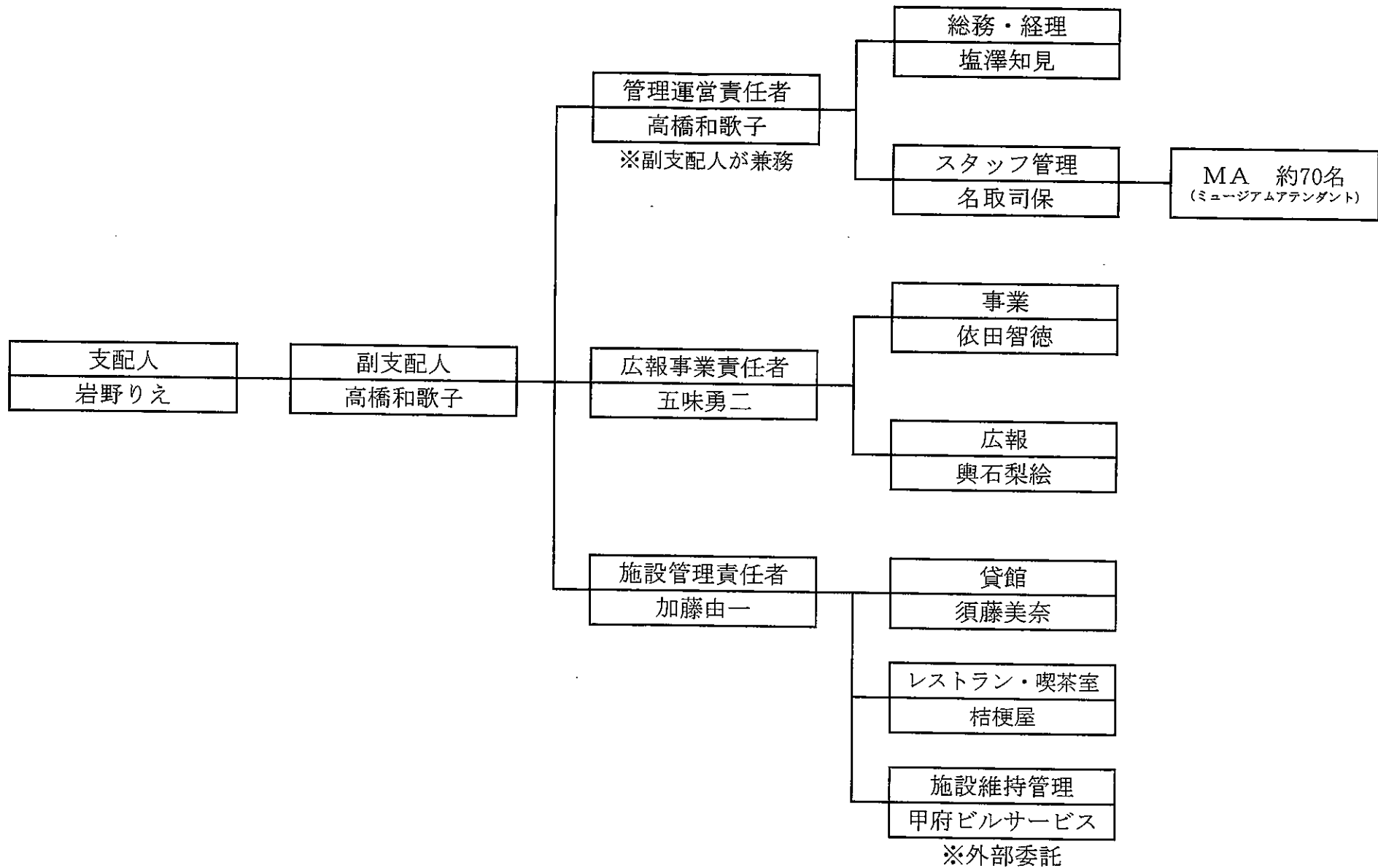
職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	千国 ちふみ	協力会業務

職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主幹	小林 幸代	担当の総括 図書、逐次刊行物の 評価・公開
主任	中島 桂子	文献検索システム、情 報ネットワーク・イント ラ事業、HP更新
非常勤 嘱託	土屋 育正	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	瀧田 夏希	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	内藤 るか	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	白倉 美紀子	資料等の整理 閲覧室カウンター業務

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務

平成30年度指定管理者
組織体制（美術館と兼務）

平成30年10月1日現在



山梨県立文学館活動報告と予定(概要)

本館に求められるもの

県民の価値観の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがい求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品(資料)を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしみ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

○開館30周年を迎える2019(平成31)年度は、記念事業を行い、文学館の新たな魅力発信をしていく。

2018年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

(常設展)年4回の展示替えに加え、次のテーマで期間限定公開のコーナーを設置

春：竹中英太郎と竹中芳 夏：高浜虚子と山中湖の虚子山莊

秋：小説家・熊王徳平 冬：小林一三と文芸

第1室 山梨の文学風土(甲斐のうた・甲州の近世文学) 樋口一葉(朗読コーナー)

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち
井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介(朗読コーナー)

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期(9月まで)小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡
後期(3月まで)詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

(春の特設展)「生誕120年 井伏鱒二展 旅好き 釣り好き 温泉好き」4月～6月

(夏の特設展)「童話の花束 子どもたちへの贈り物」7月～8月

(秋の企画展)「歿後30年 草野心平展 ケルルン クックの詩人、富士をうたう。」9～11月

(新収蔵品展)開館30周年記念「手紙のリズム」1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・ワークショップ・特設展、企画展の関連事業・チャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・展示解説・講師派遣・移動文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会(協力会)

(第27回やまなし文学賞)小説・研究評論2部門を実施。3月1日発表。3月10日表彰式。

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることが出来る機会の提供として

○閲覧室資料紹介＝井伏鱒二を読む・みんなで読もう日本の名作・草野心平の世界・

映像になった文学作品 平成をふり返って

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

飯田蛇笏・太宰治・辻邦生・山崎方代・与謝野晶子・中村星湖

○書庫見学 6/9(土) 11/20(火・県民の日) 午前・午後各1回

○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施(毎週日曜日)。

芸術の森公園アートツアー(SPSやまなし自主事業)ミュージアム甲斐in(会員)募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

(共催事業)第4回碑前祭(山廬文化振興会と共催) 三枝昂之館長の講話・句会

2019年度の活動(予定)

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

(常設展)年4回展示替えに加え、開館30周年記念「近代文学の名作」として期間限定公開コーナーを設置

春：樋口一葉「たけくべ」「にごりえ」 夏：芥川龍之介「或る阿呆の一生」

秋：山本周五郎「青べか物語」「おごそかな湯き」 冬：深沢七郎「楡山節考」「笛吹川」

第1室 山梨の文学風土(甲斐のうた・甲州の近世文学) 樋口一葉(朗読コーナー)

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち
井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介(朗読コーナー)

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期(9月まで)小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡
後期(3月まで)詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

(春の特設展)開館30周年記念「生誕110年 太宰治展」4月～6月

(夏の特設展)開館30周年記念「山と水の文学」7月～8月

(秋の企画展)開館30周年記念「宮沢賢治展」9～11月

(新収蔵品展)1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・ワークショップ・特設展、企画展の関連事業・チャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・展示解説・講師派遣・移動文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会(協力会)

(第28回やまなし文学賞)小説・研究評論2部門を実施。

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることが出来る機会の提供として

○閲覧室資料紹介＝太宰治を読む・山と水に遊ぶ・宮沢賢治の世界・探偵小説の時代

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

飯田蛇笏・徳永寿美子・八木義徳・石原八束・檀一雄・芥川龍之介

○書庫見学 6/8(土) 11/20(水・県民の日) 午前・午後各1回

○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施(毎週日曜日)。

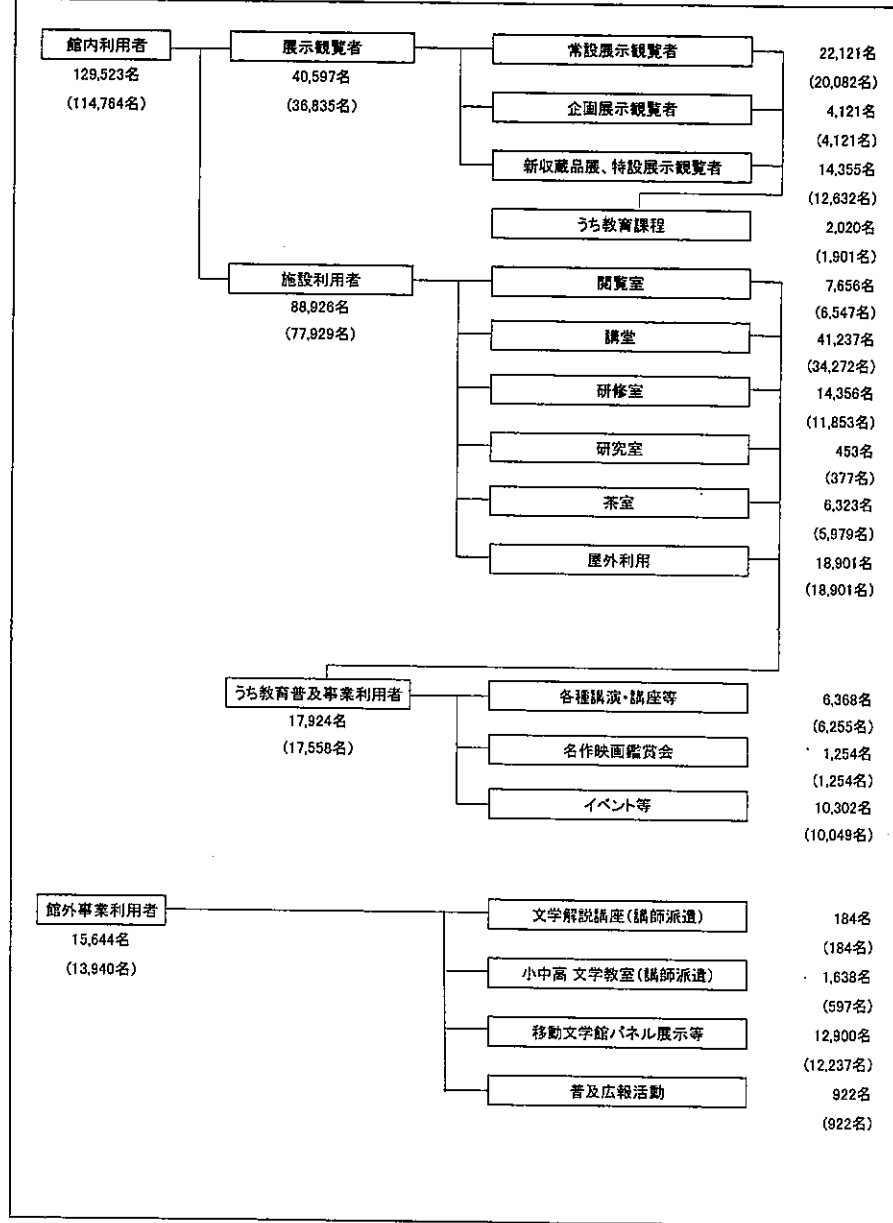
芸術の森公園アートツアー(SPSやまなし自主事業)ミュージアム甲斐in(会員)募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

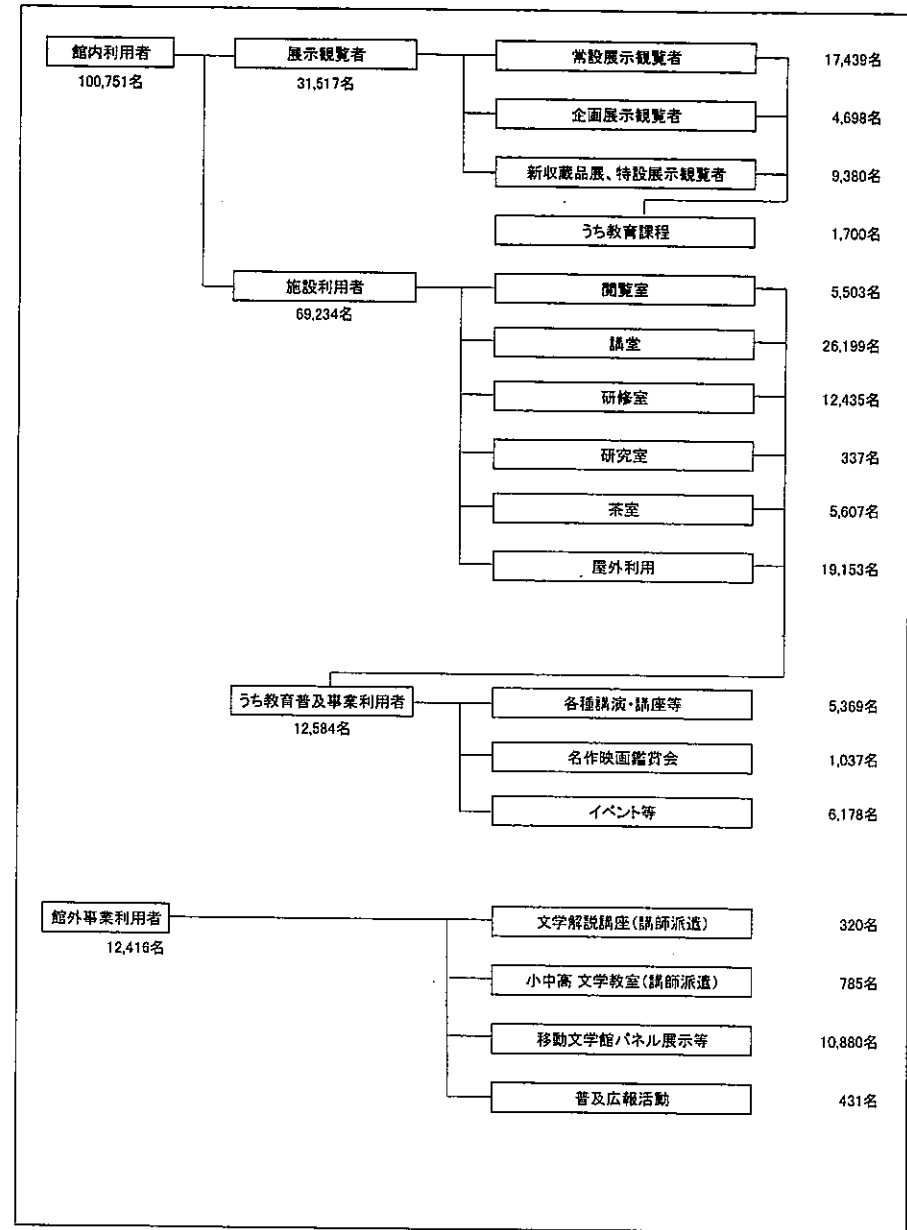
(共催事業)第5回碑前祭予定(山廬文化振興会と共催)

文学館における「利用者」の状況

平成29年度実績。()内は1月末現在



平成31年1月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H元	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	308	41,209	39,356	80,565
27	310	18,763	4,758	23,521
28	306	18,353	6,315	24,668
29	304	22,121	4,121	26,242
30	252	17,439	4,698	22,137
計	8,640	814,433	400,777	1,215,210

※平成30年度は平成31年1月末現在

平成30年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,249	48
5	27	2,395	89
6	26	1,683	65
7	26	2,165	83
8	28	3,468	124
9	26	1,066	41
10	26	1,784	69
11	26	2,435	94
12	21	480	23
1	20	714	36
2			
3			
計	252	17,439	69

前年同期比 86.8%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,535,288名

特設展観覧者数 247,042

平成29年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,089	42
5	27	2,563	95
6	26	1,628	63
7	26	4,132	159
8	29	4,902	169
9	26	925	36
10	26	1,371	53
11	27	2,401	89
12	21	514	24
1	20	557	28
2	24	876	37
3	26	1,163	45
計	304	22,121	73

1月まで 254 20,082 79

新収蔵品展観覧者数 73,036

企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田暁・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と榎一雄	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	くじらぐもからテックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
27	俳句百景展	60	4,758	79
28	北杜夫展	59	6,315	107
29	津島佑子展	53	4,121	78
30	草野心平展	56	4,698	84
	計	2,901	400,777	138

特設展観覧者数

年度	名称	開催日数	観覧者数	一日平均
2	「山梨と高浜虚子」	33	8,785	266
3	「辻 嵐外と嵐外十哲」	33	8,996	273
3	「たけくらべの世界」	36	10,378	288
3	「映画と文学」	36	9,814	273
3	「文学者の扇面と年賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」	22	2,327	106
4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
4	「佐野四郎の世界-富士見ゆる丘より」	54	6,650	123
5	「やまなしの自然と文学」	56	6,973	125
5	「五味可都里と警守の周辺」	53	8,648	163
5	「芥川龍之介 草稿の世界」	66	8,876	134
5	「野尻抱影 書簡の世界」	51	5,519	108
6	「歌人の手紙」	33	4,220	128
7	「やまなし文学賞の受賞者たち」	44	3,756	85
7	「中村星湖への手紙」	56	3,324	59
8	「豹・レオパール」の詩人たち 一宮田根夫資料より一	24	1,861	78
8	「蛇笏山脈の人々 一西島斐南・松村蒼石・榎本虎山一」	57	3,629	64
9	「芥川龍之介の草稿」	55	5,932	108
9	「村松定孝氏収集」	32	1,274	40
10	「児童文学-山梨ゆかりの作家群-」	50	3,778	76
10	「鳩山草平資料」	23	757	33
11	「山岳関連名譽展 一百瀬登太郎コレクションより一」	41	4,202	102
12	「脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎」	34	2,019	59
12	「山梨の文芸誌-大正から昭和初期」	42	1,068	25
13	「やまなしの児童文芸 -「赤い鳥」「金の船」「金の星」「童話」を中心に-」	41	2,086	51
13	「山梨の文芸誌-戦後から現代まで-」	41	1,121	27
14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	61
15	山梨の農民文学	38	1,947	51
16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
17	山梨のアラビヤ派歌人展 伊藤左千夫・三井甲之・神奈俊村・岡千里・日原無殿を中心に	34	1,393	41
18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	91
21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」-青い瞳の涙-	30	3,027	101
21	収蔵名品展 (常設展観覧料で見せた)	44	3,007	68
22	くじらぐもからテックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	77
23	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
24	フランダーズの犬	33	5,034	153
24	飯田蛇笏展	53	6,553	124
24	至宝展 (国文祭関連で常設展観覧料で見せた)	54	3,490	65
25	富士山と文学	63	4,549	72
25	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
26	本のおしゃれ展(特別コーナー-村岡花子と柳原白蓮)	34	10,309	303
27	田中冬二展 なつかしい日本の風景	50	3,695	74
27	芥川龍之介の夏休み	41	4,661	114
28	辻 嵐外 甲州の近世俳人	46	2,514	55
28	宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	47	5,367	114
29	歿後50年 山本周五郎展	45	3,920	87
29	作家のデビュー展	44	8,322	189
30	生誕120年 井伏鱒二展	45	3,916	87
30	童話の花束 子どもたちへの贈り物	39	5,242	134
	計	2,123	247,042	116

平成30年度 企画展・特設展など(実績および予定)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	特設展 井伏鱒二展	平成30年 4月28日(土) ～ 6月17日(日)	45日間	3,916人	2018(平成30)年は、小説家・井伏鱒二の生誕120年にあたります。井伏は、「山椒魚」「ジョン万次郎漂流記」「黒い雨」などの作品を執筆し、日本文学史に名を残した作家であると同時に、山梨県と深い繋がりを持っています。1995(平成7)年に企画展を開催していますが、本展では、それ以降に収集した資料を含め、下部温泉、増富ラジウム温泉、疎開した甲府市・岩月家などの県内の各地に残した足跡や、飯田蛇笏・龍太親子との交流も紹介しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 童話の花束 子どもたちへの贈り物	平成30年 7月14日(土) ～ 8月26日(日)	39日間	5,242人	山梨ゆかりの文学者の児童文学作品を紹介した展覧会。「蜘蛛の糸」「杜子春」で知られる芥川龍之介、「赤毛のアン」などの翻訳とともに創作童話も手がけた村岡花子、少年少女向けの歴史本編集に携わった前田晁、「おかあさん童話」が母子に親しまれた徳永寿美子、児童文学雑誌「赤い鳥」に多くの童話を発表した中村星湖に、これまで資料を展示する機会が少なかった太田黒克彦、小野政方、矢崎源九郎を加えた8名の原稿や書簡、童話集などを展示しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 歿後30年 草野心平展 ケルルン クックの詩人、富士をうたう。	平成30年 9月22日(土) ～ 11月25日(日)	57日間	4,698人	蛙の詩で知られる草野心平(1903～1988)のもう一つの重要なテーマが富士山です。1940年に「日本詩壇」に詩「富士」を発表してからは、生涯にわたってのテーマとなり、『富士山』(1943年)、『富士の全体』(1977年)などの詩集を刊行。また、詩だけではなく、書や絵画でも富士山の魅力をダイナミックに表現しました。本展では、草野心平の生涯と生命力溢れる詩の世界とともに、富士山来訪のエピソードや山梨県立南高等学校の校歌作詞など、山梨との関わりについても紹介しました。	自主企画
4	新収蔵品展	平成31年 1月26日(土) ～ 3月24日(日)	50日間	一人	平成30年に新たに収蔵した資料を中心に、与謝野晶子、飯田蛇笏、中村星湖の書、芥川龍之介、武田泰淳の原稿、飯田龍太、辻邦生の書簡など、貴重な直筆資料の数々を紹介しします。	自主企画 ・観覧料無料で公開

平成31年度 企画展・特設展（予定）

	展覧会名	会期	日数	内 容	備 考
1	特設展 生誕110年 太宰治展	2019年 4月27日(土) ～ 6月23日(日)	51日間	太宰治(1909～1948 青森県生まれ)の生誕110年を記念して、当館で収蔵する太宰資料を一堂に展示します。 心身再生の場となった御坂峠の天下茶屋、新婚時代を過ごした甲府市御崎町、妻の実家があり疎開先となった甲府市水門町など、太宰が山梨に残した足跡は数多くあります。現在も、幅広い世代に愛読されている太宰治と山梨のゆかりを発信します。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 山と水の文学	2019年 7月13日(土) ～ 8月25日(日)	39日間	富士山、南アルプス、八ヶ岳など、豊富な水源を有する山々に囲まれた山梨県。その奥深い自然は多くの文学者たちを刺激し、優れた小説・詩歌など文学作品を生み出す重要なテーマとなってきました。 小島烏水、若山牧水、尾崎喜八、深田久弥、新田次郎などの作品により、山と水をテーマにした文学に焦点をあてた展覧会です。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 宮沢賢治展	2019年 9月21日(土) ～ 11月24日(日)	56日間	詩、童話に独自の世界を切り開き、現在も多くの愛読者を持つ宮沢賢治(1896～1933)。生前刊行された著書は詩集『春と修羅』、童話集『注文の多い料理店』の2冊のみでしたが、歿後、高い文学性が認められました。 本展では、現代に生き続ける賢治作品の魅力と、賢治の掲げた理想の世界に迫ります。さらに山梨出身の友人保阪嘉内をはじめとする賢治をとりまく人々や、歿後の作品受容の広がりにも焦点をあてていきます。	自主企画
4	新収蔵品展	2020年 1月25日(土) ～ 3月22日(日)	50日間	2019年に新たに収蔵した資料を展示。	自主企画 ・観覧料無料で公開

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展

企画展「歿後30年 草野心平展 ケルルンクックの詩人、富士をうたう。」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
10月21日	講演会「牧歌への回帰」	島田雅彦(小説家)	117
10月28日	講演会「草野心平、詩の理想を求めて」	蜂飼耳(詩人・作家)	46
11月10日	講演会「宮沢賢治、高村光太郎、そして草野心平 ―コスモス、世界共通意識と孤絶意識にかかわって―」	阿毛久芳(都留文科大学名誉教授)	71
9月30日	講座「草野心平と富士山 ―展示のみどころ―」	伊藤夏穂(当館学芸員)	40
合計			274

(2) 特設展

特設展「生誕120年 井伏鱒二展」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
6月10日	講演会「井伏鱒二の笑いと悲しみ」	町田康(作家)	303
合計			303

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講 師	事業名・演題	月 日	人 数
長谷川千秋 (山梨大学教授)	年間文学講座1(全8回)講堂 「『裏見寒話』を読む―甲州勤番士の捉えた「やまなし」の人・文化・ことば」 土曜日(8月31日のみ金曜日) 14:00~90分	6月9日	116
		6月30日	121
		7月28日	79
		8月31日	102
		9月15日	102
		10月27日	88
		11月24日	82
		12月15日	87
小計			777
○菊池有希 (都留文科大学准教授) ○野口哲也 (都留文科大学准教授) ○古川裕佳 (都留文科大学教授) ○牛山 恵 (都留文科大学名誉教授)	年間文学講座2(全8回)講堂 「日本文学と富士山～近代を中心に」 *4名の講師によるリレー式講座 木曜日 14:00~90分	5月17日	93
		6月21日	88
		7月26日	80
		8月2日	71
		9月6日	81
		10月18日	65
		11月1日	55
		12月6日	56
小計			589
中野和子 保坂雅子 高室有子	年間文学講座3「山梨の文学」	5月12日	87
		7月22日	62
		12月9日	31
小計			180
合計			1,546

(2) 教師のための学習会

月 日	題 名	情 報	参加人数
7月24日	特設展 先生のための学習会①		11
	企画展 先生のための学習会②		1
合計			12

(3) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	2,673
文学の柱	502
企画展チャレンジクイズ	687
特設展チャレンジクイズ	1,819
合計	5,681

(4) 名作映画鑑賞会

月日	題名	情報	参加人数
5月20日	(特設展関連上映) 黒い雨	1989年 原作 井伏鱒二 監督 今村昌平 出演 田中好子 北村和夫	255
6月3日	潮騒	1975年 原作 三島由紀夫 監督 西河克己 出演 山口百恵 三浦友和	235
8月5日	(特設展関連上映) アニメ「赤毛のアン」	1979年 原作 モンゴメリ 監督 高畑勲	206
10月6日	愛と死をみつめて	1964年 原作 大島みちこ 監督 斎藤武市 出演 吉永小百合 浜田光夫	207
11月17日	霧末太陽傳	1957年 監督 川島雄三 出演 フランキー堺 南田洋子	134
合計			1,037

(5) 朗読講演会

月日	事業名 演題	講師	参加人数
9月24日	耳で聴く芥川龍之介 ～名作「鼻」「歯車」の世界	華のん企画	215
合計			215

(6) 文学創作教室

月日	事業名 演題	講師	参加人数
5月13日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	18
5月19日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	18
6月24日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	17
7月14日	一般創作教室 「神永学講演会」	神永 学	100
7月14日	高校生創作教室 「神永学講演会」	神永 学	50
9月8日	三枝昂之短歌講座	三枝 昂之	38
12月16日	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹	42
合計			283

(7) ワークショップ

月日	事業名 演題	講師	参加人数
4月29日	大人のための初心者俳句ワークショップ	井上康明	38
6月2日	羊毛フェルトで山椒魚を作ろう!	小澤美智子	26
7月7日	子どもとその保護者のための「俳句入門」	井上康明	10
7月16日	夏休み自由研究プロジェクト		185
7月29日	デコパージュで『童話の花束』を身近に	小林陸実	22
7月31日	あなたの心を鏡開き! 大神楽の世界を体験しよう	丸一仙三・仙花	35
1月12日	新春小学生百人一首教室	竜王かるた会	37
合計			353

(8) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月日	学校名	情報	参加人数
8月1日	甲府城西高校		2
8月1日	八田中学校		2
8月1日	山梨大学		1
8月3日	勝山中学校		1
8月3日	白根御助使中学校		3
8月3日	甲府西高校		2
11月8日	あけぼの特別支援学校		2
合計			13

(9) 学芸員実習

月日	学校名	情報	参加人数
7月16日	都留文科大学		2
合計			2

(10) 文学解説(展示解説、視察対応)

月日	対象名・講座名等	対象者	参加人数
4月6日	都留文科大学国文科オリエンテーション	都留文科大学学生	136
5月26日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院峽東教室	17
7月22日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院峽南教室	29
8月1日	中巨摩地区国語科研究会	中巨摩地区小中教員	12
8月3日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院中北教室	32
8月17日	都留地区国語科研究会	都留地区小中教員	6
8月17日	峡南地区国語科研究会	峡南地区小中教員	32
8月21日	山梨県国語科教育課程研究会	中学校国語科教員	32
9月13日	和洋女子大学	和洋女子大学学生	33
9月28日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院甲府教室	47
9月29日	「富士山の文学について」	実践桜会山梨支部	13
10月23日	山梨県小中学校女性管理職の会	山梨県小中学校女性管理職	45
11月16日	ことぶき勸学院	ことぶき勸学院北都留・南都留教室	22
11月17日	やまなし観光カレッジ	県下大学生	60
12月8日	山梨県図書館教育研究会読書感想文表彰式	県下小中学生	555
合計			1,071

(11) 山梨の文学解説講座（他会場への講師派遣事業）

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
6月25日	文学に描かれた甲府（太宰治）	藤村学校	70
7月30日	峡南地区図書館教育研究会	峡南地区小中学校図書館司書	9
10月13日	周五郎作品から見る故郷・山梨への思い	みどう本陣	35
10月27日	山本周五郎と韭崎	韭崎市大草公民館	48
11月17日	世界遺産富士山講座	山梨県立富士山世界遺産センター	20
合計			182

(12) 小・中・高等学校文学教室（出前授業）

月 日	学校名（内容）	対 象 者	参加人数
6月8日	浅川中学校	浅川中2年生	130
6月15日	都留高等学校	都留高等学校2年生	240
6月27日	北杜市放課後子ども教室（須玉）	須玉小学生	70
7月12日	鯉沢中学校	鯉沢中学校2年生	18
7月18日	中央高等学校	中央高等学校午前・午後・夜間部	94
8月29日	北杜市放課後子ども教室（大泉）	泉小学生	62
9月19日	北杜市放課後子ども教室（武川）	武川小学生	42
10月3日	北杜市放課後子ども教室（長坂）	長坂小学生	56
11月7日	鯉沢中学校	鯉沢中学校全校生徒	73
2月6日	北杜市放課後子ども教室（明野）	明野小学生	
合計			785

(13) 小・中・高等学校教育課程対応（展示解説）

月 日	内 容	対 象 者	参加人数
4月12日	校外学習	鯉沢中学校2年	10
4月26日	校外学習	市川中学校2年	10
5月8日	校外学習	身延中2年	35
5月8日	校外学習	御勅使中2年	15
5月9日	校外学習	韭崎東中2年	44
5月9日	校外学習	八田中2年	3
5月9日	校外学習	韭崎西中2年	14
5月11日	校外学習	高根中2年	13
5月11日	校外学習	田富中2年	10
5月11日	校外学習	普蓮士学園	130
5月15日	校外学習	榑形中2年	11
5月15日	校外学習	早稲田高等学院	173
5月15日	校外学習	甲西中2年	4
5月16日	校外学習	若草中2年	16
5月16日	校外学習	双葉中2年	13
5月16日	校外学習	早稲田高等学院	44
5月18日	国語科校外学習	城西高校2年	175
5月30日	校外学習	北東中1年	5
5月30日	国語科校外学習	中央高校通信制	16
6月6日	国語科校外学習	甲斐清和高校	36
6月13日	校外学習	大月東中	4
6月23日	校外学習	大月短期大学	47
7月11日	校外学習	付属中1年	14
7月20日	国語科校外学習	甲斐清和高校通信制	51
7月26日	校外学習	韭崎東中	3
9月19日	校外学習	塩山高校1年	126
10月5日	校外学習	新田小5年	28
10月10日	校外学習	新田小4年	29
10月12日	校外学習	城西高校1年	114
10月19日	校外学習	女子学院高校1年	207
11月13日	校外学習	昭和高校1年	85
11月14日	校外学習	昭和高校1年	85
11月15日	校外学習	昭和高校1年	85
1月31日	校外学習	新田小3年	15
2月26日	国語科校外学習	甲府看護専門学校	
2月27日	校外学習	新田小5年	
3月1日	校外学習	新田小4年	
合計			1,670

(14) 小・中・高等学校移動文学館 (アウトリーチ)

月日	利用学校名	セット	対象人数
4月11日	中央高校	F	424
4月11日	御坂中学校	E	334
4月25日	中央高校	C	424
4月27日	御坂中学校	A	334
5月15日	長坂中	A	215
5月16日	鯉沢中学校	F	69
5月18日	中央高校	B	424
5月31日	鯉沢中学校	E	69
5月31日	東桂中	F	226
6月19日	上野原高校	E	512
6月19日	御坂中学校	F	334
6月29日	田舎中学校	F	484
7月18日	中央高校	A	424
9月6日	押原中学校	F	581
9月6日	中央高校	D	424
9月21日	富竹中学校	F	280
10月10日	楯形中学校	F	650
10月24日	富河小学校	D	82
10月26日	巨摩高校	F	739
11月2日	国母小学校	D	430
11月2日	境川小学校	D	217
11月16日	白根高校	F	360
12月7日	甲府南高校	F	904
1月10日	玉幡多中学校	F	440
1月24日	中央高校	E	424
1月24日	中央高校	D	424
1月29日	石和中学校	A	652
合計			10,880

利用教材 A: 石川啄木セット B: 龍太・蛇笏のちまちま人形セット C: 花子とアン D: 賢治と霧内の友情セット E: 芥川龍之介の夏休みセット F: 文芸ストレイドッグスセット

(15) 外部共催研修

月日	企画名	対象者	利用人数
7月31日	総合教育センターとの共催研修	小中・特別支援学校教員	13
10月19日	小中学校初任者研修	小中学校初任者研修	35
合計			48

(16) 各種団体への普及活動

月日	普及内容	対象者	利用人数
5月11日	中巨摩地区校長会	学校長	50
5月15日	北巨摩地区校長会	学校長	27
5月15日	東山梨地区校長会	学校長	29
5月22日	北都留地区校長会	学校長	19
6月1日	南都留地区校長会	学校長	43
6月1日	高等学校国語部会	高等学校国語科教員	44
6月12日	甲府地区校長会	学校長	39
6月14日	笛吹地区校長会	学校長	19
6月23日	山梨県国語科教育研究会	小中学校教員	40
6月26日	峡南地区校長会	学校長	28
10月2日	高等学校国語部会	高等学校国語科教員	44
合計			382

(17) 協定会読書会

月日	作品	対象者	利用人数
5月13日	井伏鱒二「山椒魚」		5
6月10日	太宰治「もの思う芥」		6
7月8日	芥川龍之介「蜘蛛の糸・杜子春」		8
8月12日	吉村昭「遠い日の戦争」		4
9月9日	松井十四季「同調とバランス」		6
10月14日	志賀直哉「小僧の神様 外」		7
11月11日	瀬戸内寂聴「手鞠」		7
12月9日	林真理子「花探し」		5
1月13日	川端康成「掌の小説」		6
2月10日	山本周五郎「月の松山 外」		
3月10日	芥川賞受賞作2作(第159回&160回)		
合計			54

3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して、山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助とするために制定された。小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘・佐伯一衣・長野まゆみ
研究・評論部門：中島国彦・関川夏央・兵藤裕己

小説部門応募者数………313

研究・評論部門応募者数…121

合計 434

30年11月30日：作品締め切り

31年 2月12日：小説部門選考会

2月14日：研究・評論部門選考会

3月10日：表彰式

6月：小説部門受賞作単行本刊行

平成31年度実施予定教育普及事業の概要

事業名	事業説明
年間文学講座	年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう調整する。多くの方が参加できるように、平日のみならず、土・日も開講する。
山梨の文学講座	「山梨の文学講座」は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施し、当館学芸員が講師を務める。
名作映画鑑賞会	有名な文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて、多くの県民とともに考える企画。平成2年から毎年実施。
朗読鑑賞会	県内外から講師を招聘し、文学作品(詩・小説など)の魅力を朗読によって鑑賞する企画。開館の年から実施し、毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。
山梨の文学解説講座	学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座。要望に応じ当館の研修室・講堂等あるいは市町村等に出向いて講義をする。
博学連携事業	将来の山梨を担うことになる子どもたちに、優れた文学と文学者の存在に気付かせるきっかけを作ることを目的に、学校教育と連携し、文学館作成の指導資料を学校に貸し出す「アウトリーチ」、「出前授業」、校外学習へのサポート、高校生を対象とした「文学創作教室」等を実施する。
就業体験(インターンシップ)	子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが、今日的課題となっている。文学館としても、中学生・高校生・大学生の職場見学やインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。
教師のための学習会開催	県内の小・中・高校・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、学校教育への活用を図る。
子どもワークショップ	子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じてもらう機会とする。各界で活躍する専門家を招くことで、子どもたちの多彩な分野での興味を広げていく。

平成30年度 資料情報課事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が資料を直接手に取って利用できる機会を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
井伏鱒二を読む 特設展「生誕120年 井伏鱒二展」に合わせて、代表作『黒い雨』『本日休診』や山梨を舞台にした『岳麓点描』などの著作や研究書を紹介する。	平成30年4月28日(土) ~ 6月17日(日)
みんなで読もう日本の名作 特設展「童話の花束 子どもたちへの贈り物」に合わせて、復刻シリーズを中心に『風の又三郎』、『一房の葡萄』、『蜘蛛の糸』など、子ども向けに書かれた名作の数々を紹介する。	平成30年7月14日(土) ~ 8月26日(日)
草野心平の世界 企画展「草野心平展」に合わせて、草野心平の著作と詩誌「歷程」をめぐる詩人の作品など関連資料を紹介する。	平成30年9月21日(金) ~ 11月25日(日)
映像になった文学作品 平成をふり返って 『太陽の坐る場所』(辻村深月)や『白磁の人』(江宮隆之)など平成の時代に映像化され、話題になった文学作品や映画関連記事などを紹介する。	平成31年2月8日(金) ~ 4月7日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田蛇笏(4月26日生まれ)	平成30年 4月20日(金) ~ 5月10日(木)
太宰 治(6月19日生まれ)	平成30年 6月 8日(金) ~ 6月28日(木)
辻 邦生(9月24日生まれ)	平成30年 9月 7日(金) ~ 9月27日(木)
山崎方代(11月1日生まれ)	平成30年10月26日(金) ~ 11月15日(木)
与謝野晶子(12月7日生まれ)	平成30年11月30日(金) ~ 12月20日(木)
中村星湖(2月11日生まれ)	平成31年 2月 1日(金) ~ 2月21日(木)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成30年 6月 9日(土) 参加者：44名
 第2回 同 11月20日(火) 県民の日 参加者：50名
 午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

2019(平成31)年度 資料情報課事業計画(案)

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が資料を直接手に取って利用できる機会を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
太宰治を讀む 特設展「太宰治 生誕 110 年 (仮称)」にあわせて、太宰治の『人間失格』や『斜陽』などの代表的な作品や、『富嶽百景』など山梨ゆかりの作品、関連資料などを紹介する。	2019年4月27日(土) ~ 6月23日(日)
山と水に遊ぶ 特設展「山と人の文学 (仮称)」にあわせて、山や川、湖や温泉などの自然に親しみ、その風景を作品世界に綴った文学者たちの著作を紹介する。	2019年7月13日(土) ~ 8月25日(日)
宮沢賢治の世界 企画展「宮沢賢治展 (仮称)」にあわせて、宮沢賢治による童話や詩などの著作や、宮沢賢治作品の研究書、宮沢賢治ゆかりの人々に関する資料などを紹介する。	2019年9月21日(金) ~ 11月25日(日)
探偵小説の時代 大正から昭和戦前期にかけて、江戸川乱歩や木々高太郎ら多くの探偵小説家が活躍した。探偵小説作品や、雑誌『新青年』、探偵小説雑誌など関連資料を紹介する。	2020年2月7日(金) ~ 4月5日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田蛇笏 (4月26日生まれ)	2019年 4月19日(金) ~ 5月 9日(木)
徳永寿美子 (9月24日生まれ)	2019年 9月13日(金) ~ 10月 3日(木)
八木義徳 (10月21日生まれ)	2019年10月18日(金) ~ 11月 7日(木)
石原八束 (11月20日生まれ)	2019年11月15日(金) ~ 12月 5日(木)
檀 一雄 (2月3日生まれ)	2020年 1月31日(金) ~ 2月20日(木)
芥川龍之介 (3月1日生まれ)	2020年 2月28日(金) ~ 3月19日(木)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇開館 30 周年記念本因坊戦(5/22・23)関連資料紹介

「囲碁と作家」 2019年5月15日(水) ~ 6月5日(水)

◇食育推進全国大会inやまなし(6/29・6/30)関連資料紹介

「文学者の食卓」 2019年6月14日(金) ~ 7月15日(月)

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 2019年 6月 8日(土)

第2回 同 11月20日(水) 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(H31.1.31現在)

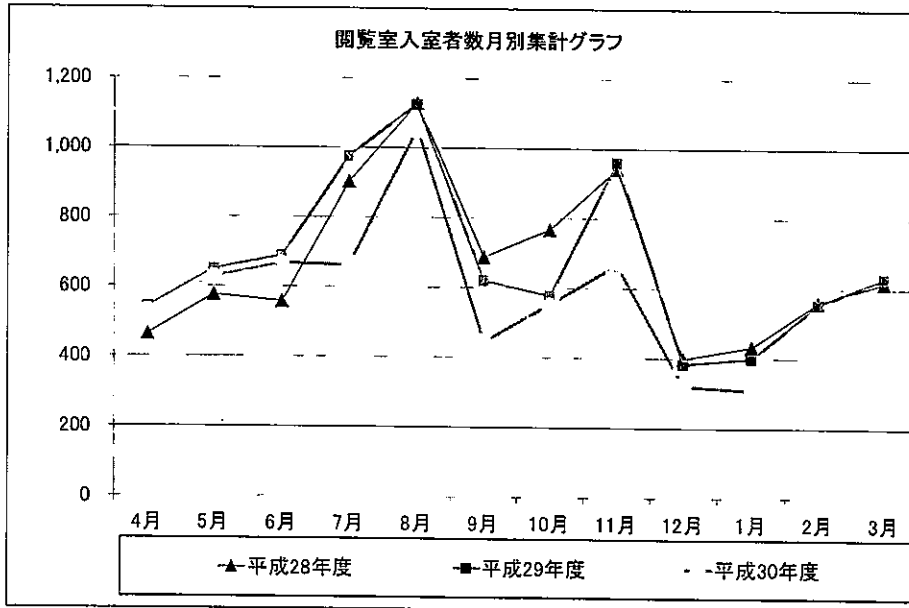
	開館 日数	入室者	閲覧 カード 発行数	閲覧 者数	閲覧 冊数	調査 相談	電子式 複写 枚数	マイク ロ 複写 枚数	画像 検索 回数	資料 紹介 冊数
平成28年度	306	8,034	95	425	1,692	342	2,944	0	1,881	919
平成29年度	304	8,109	106	440	1,895	801	4,122	0	1,734	544
平成30年度	252	5,840	88	316	913	544	1,913	0	1,170	492

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H31.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均 入室者数
平成28年度	464	576	558	902	1,128	687	767	942	399	433	561	617	8,034	26
平成29年度	542	650	689	976	1,126	620	577	960	384	400	555	630	8,109	27
平成30年度	532	630	668	662	1,055	444	553	667	321	308			5,840	23

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H31.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成28年度	25	42	23	39	34	26	20	20	26	18	27	42	342	1
平成29年度	40	63	119	54	76	76	73	73	38	64	69	56	801	3
平成30年度	68	59	71	57	68	49	52	42	50	28			544	2

複写枚数(電子式・マイク)(月別)

単位:枚 (H31.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成28年度	28	594	258	452	137	301	228	244	243	78	39	342	2,944	10
平成29年度	224	222	400	364	745	441	145	106	18	220	661	556	4,122	14
平成30年度	323	149	91	79	181	381	248	124	264	73			1,913	8

文学館30周年事業の展開

30周年を契機として、文学を通じ山梨の文化を県内外へ発信していくとともに、文学館のさらなるイメージアップをはかりアピールしていく。

開館30周年を迎える2019年の事業の展開 — 充実と強化 —

- ① 美術館・文学館館長トーク 3月2日(土)
- ② 文学館の存在を内外へPR キャッチコピー発表
- ③ 30周年記念式典 秋
- ④ 30周年記念文学講演会 秋
- ⑤ 30周年記念展示の展開
 - ・ 新収蔵品展 1~3月
 - ・ 特設展「太宰治展」 4~5月
 - ・ 特設展「山と水の文学」 7~8月
 - ・ 企画展「宮沢賢治展」 9~11月

 - ・ 年間通じての常設展「近代文学の名作」(春夏秋冬で展示替え)
 - ・ 年間通じての閲覧室の資料紹介
- ⑥ 囲碁の本因坊戦対局を素心菴において実施 5月22日、23日

平成30年度 下半期文学館協議会

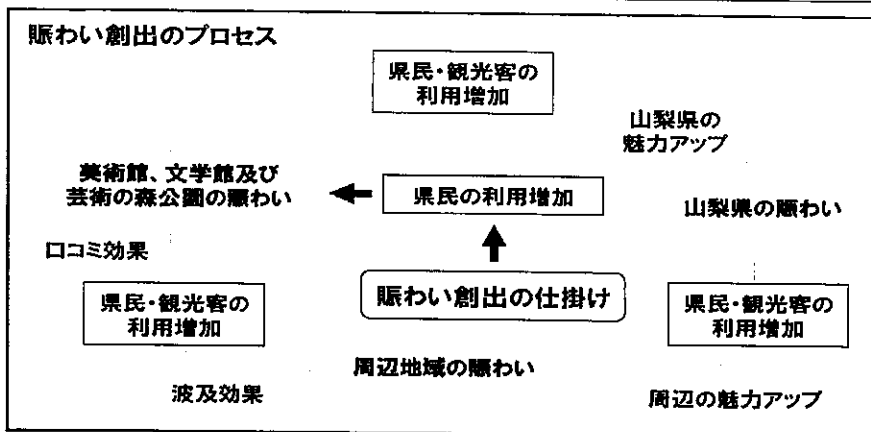
山梨県立文学館指定管理者
株式会社SPSやまなし

目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
 - ・ 展覧会観覧誘致のための広報活動
 - ・ 露出度アップのための広報戦略
 - ・ 広報イベントの開催
3. ホスピタリティデザインの構築
 - ・ 両館合同防災訓練
4. 施設の維持管理
5. 指定管理第3期の運営方針

美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設



指定管理者活動トピックス

【2-1】展覧会観覧誘致のための広報活動

企画展「草野心平展」

2018年9月22日(土)～11月25日(日)

「詩」をテーマにした展覧会であったためターゲットの絞込みに苦慮したが、県民の日には広報イベントを行った結果、1,096名の来館者を迎えることができた。また、詩の文芸雑誌や書道の専門誌などへも広報を展開している。



<観覧者数>4,698名(予比94%)

詩雑誌『ユリイカ』

『書道会』10月号

指定管理者活動トピックス

【2-2】 展覧会観覧誘致のための広報活動

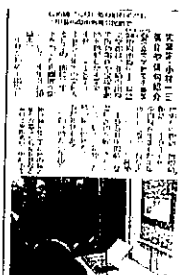
常設展 冬の展示「小林一三と文芸」

2018年12月4日(月)～2019年3月10日(日)(会期中)

NHKによる県内、首都圏エリアのニュース枠を獲得している。首都圏のお客様より「NHKで見た」「県外から来た」と声をかけられることもあり、年末年始の誘致に一定の効果があったと思われる。その他、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞等、メディアの取材が多かった。



<観覧者数>～1月末時点
1,161名(予比82%)



12/15毎日新聞
(山梨版)



12/4 NHK甲府にて放送
1/12 NHK首都圏にて放送

指定管理者活動トピックス

【2-4】 広報イベントの開催

芸術の森茶会(9/16、10/7、12/16)

県民の日茶会(11/20)、初釜(1/6)

外国人向け茶道体験(9/16)

茶道各流派や素心会の協力のもと開催している「芸術の森公園茶会」。毎回定員を超える参加がある。利用促進を目的に本格的な茶室設備のアピールとともに、お手前体験等、茶道文化にも触れるきっかけとしている。



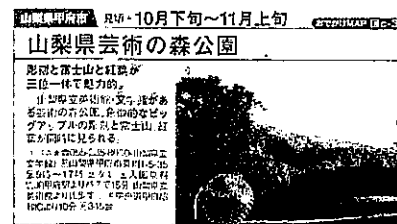
参加人数
(9/16) 約144名(内、外国人向け茶道体験6名参加)
(10/7) 約150名 (12/16) 約160名
(11/20) 約500名 (1/6) 約250名

指定管理者活動トピックス

【2-3】 露出度アップのための広報戦略

「じゃらん」全国紅葉73スポットに選出

リクルート発行の全国紙「じゃらん」の全国絶景紅葉スポット73箇所の中に芸術の森公園が選ばれた。以前から、「紅葉とピックアップル」「富士山のコントラスト」が美しく、秋掲載の雑誌等には継続して掲載を重ねてきたため今回選ばれたのではないかと考える。



指定管理者活動トピックス

【2-5】 広報イベントの開催

芸術の森公園ツアー(9/15～11/25)

秋季は対応するガイドスタッフを新たに3名増やし、新たな目線で文学碑や公園の魅力を発信した。10/7は芸術の森茶会(呈茶)とコラボした特別ツアー(コースに日本庭園含む)を開催した。アンケートから多くの方に庭園や茶室を楽しんでいただけたことがわかった。



秋季アートツアー参加人数:341名
年間参加人数(春・秋)計:612名

指定管理者活動トピックス
【2-6】広報イベントの開催

「ミュゼ マルシェ」の実施(10/13,14)

開催4回目のミュゼ・マルシェ。地元企業や山梨ゆかりの店舗(127店舗)の出店、また、県内で音楽活動を展開しているアーティストによる園内での演奏を行った。美文両館の展示室を巡るクイズラリー等も実施し観覧者増への取り組みも実施。2日間で13,200名の入場となった。



<観覧者数(のべ2日間)>
常設展 233名
企画展 229名

指定管理者活動トピックス
【2-7】広報イベントの開催

県民の日イベントの開催(11/20)

「県民の日」が平日であったことから、今年度もお子様とご家族をターゲットとした広報イベントを実施。文学館では「バルーンアートプレゼント」「消しゴムすくいゲーム」、また、美術館との連携事業として「スタンプラリー」を実施した。



バルーンアート
114名



消しゴムすくい
732名

スタンプラリー
1,913名

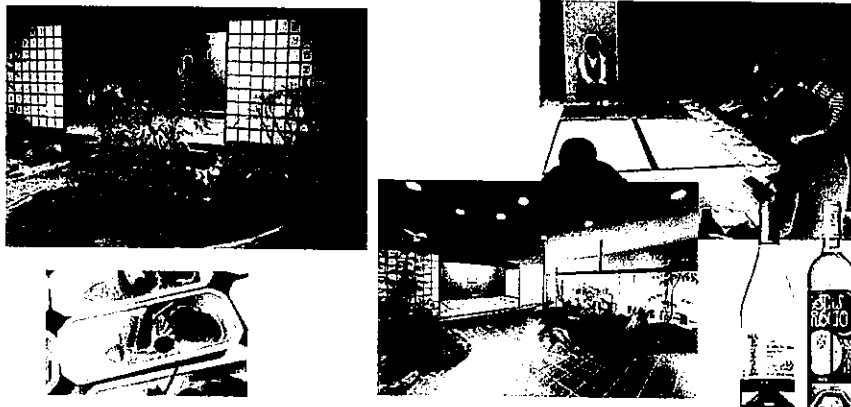


<イベント参加人数>のべ11,777名
<観覧者数>
常設展 1,096名 企画展 1,117名

指定管理者活動トピックス
【2-8】広報イベントの開催

素心菴にてワイン茶会の実施(11/11)

美術館40周年記念事業として、茶室に山梨県出身のアーティスト天野慶さんによる造園技術を用いた空間が用意された。SPSやまなしにてワイン茶会を実施し、素心菴の利用可能性を広げる事業を行った。(参加者数:19名)



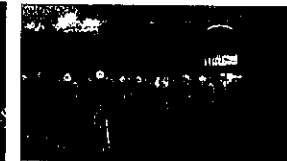
指定管理者活動トピックス
【3-1】ホスピタリティデザインの構築

両館合同防災訓練の実施(10/24)

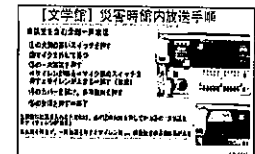
地震が発生したことを想定し、今年度も美文県職員、指定管理者、協力会社合同での避難訓練を実施した。終了後はDVDを視聴し、AEDの操作方法と心肺蘇生について学習した。訓練後に、気になった点を担当者間で共有、操作マニュアルを用いて運用を再チェックするなど振り返りを行っている。



インバウンド対応の表示を掲げ、
集合場所を知らせるスタッフ



放送機器の操作方法
マニュアル



指定管理者活動トピックス 【4-1】施設の維持管理

台風24号による被害(10/1)

9/30日夜間に、非常に強い勢力(強風)で通過した台風24号は、倒木による近隣(茶室付近)住宅の窓ガラス破損、園内の倒木等をもたらした。住宅の窓ガラス修理と園内の倒木は即日対応。



隣接する住宅のガラスに倒木があたる



ハラ園付近の倒木

指定管理者活動トピックス 【4-2】施設の維持管理

- ①文学館正面両開きドア修繕(11/12)
- ②文学館防火シャッター修繕(12/10)

設備老朽化による故障箇所の修繕を休館日に行った。①は正面両開きドアロック部分が破損したため心棒を交換。②は講堂入口の防火シャッターの手動開閉装置の故障箇所を復旧。



正面両開きドア



防火シャッター
手動開閉装置

指定管理者活動トピックス 【5】指定管理第3期の運営方針

指定管理第3期(4年間)の運営方針

- 施設の新たな魅力の発掘と発信
観光資源としての魅力をアピール
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
地元企業や団体等との強固な関係構築
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化
施設維持管理会社が共同事業体へ参画
効果的・効率的で安定した施設管理

展覧会と関連付けた活動、来館誘致につながる活動を実施していく